

バイオマス取組事例概要書

北陸

(社団法人日本有機資源協会会長賞)

- 応募主体 特定非営利活動法人 地域循環ネットワーク
- 都道府県・市町村 新潟県長岡市
- 取組分野 飼料化、BDF等燃料

取組概要

**給食の食品残渣の飼料化/廃食用油の代替灯油化 / エコグリーンクラブ事業
(家庭乾燥生ゴミ回収/食肉交換) / わりばし・おから回収・再生利用。**

地域循環ネットワークは、ごみを減らして、資源として利用していくことを目的としたNPO法人で、長岡市内を中心に、環境保全につながる啓発・実践活動に関する事業を行い、循環型社会づくりに貢献する幅広い活動をしている。

給食の食品残渣の飼料化

市内の保育施設等から回収された食品残渣（236t/年）から飼料を製造（71t/年）し、1軒は単純乾燥（その後畜産農家で配合）、2軒は回収したままの状態で、3軒の畜産農家に提供している。生産された食肉は、給食材料として学校で提供される他、直売店等を通じ、市内の消費者に供給している。

廃食用油の代替灯油化

一般家庭等、事業所から回収した廃食用油（9,000L/年）から代替灯油を製造し、生ゴミ乾燥処理機や紙おむつの焼却プラントの燃料として利用している。

エコグリーンクラブ事業（家庭乾燥生ゴミ回収/食肉交換）

家庭用生ゴミ処理機から発生する乾燥生ゴミ（4.4t/年）を回収し、飼料として畜産農家へ提供、乾燥生ゴミの量に基づき畜産農家から豚肉を受け取り乾燥生ゴミ提供家庭へ還元することにより、豚肉と乾燥生ゴミを交換するシステムを構築している。

わりばし・おから回収・再生利用

市内飲食店の使用済みわりばし（17.3t/年）を回収し、パルプ原料（4.6t/年）として製紙工場へ提供する他、炭化し炭（11.7t/年）として販売している。また、市内の豆腐店から回収されたおからから、畜産農家の協力により堆肥を製造している。

